

第5学年 道徳学習指導案

令和元年9月4日(水)第6校時
指導者

1 主題名

自分らしさを知る【個性の伸長】

2 ねらいと教材

(1)ねらい

「自分らしさ」のまどを完成させる活動と、手塚治虫さんのエピソードを通して、いろいろな自分を知り、「自分らしさ」を見つめながら、短所を改め長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。

(2)教材名

「自分らしさ」を見つめよう（きみがいちばんひかるとき 小学校5年 光村図書）

3 主題設定の理由

(1) 教材観

内容項目の「個性の伸長」とは、自分のよさを生かすことであり、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。そのためには、自分の特徴を知り、短所を改め、長所を伸ばしていくことが大切である。ここでの特徴とは、他者と比較しながら、長所と短所も見つめることが大切である。自分ではわからない特徴もあるため、他者からの気づきを通して自分の長所や短所を知るように心がけることが重要である。

本教材は、教材文と『自分らしさ』のまど』を作成する活動、および資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」の3部構成になっている。教材文を基に『自分らしさ』のまど』を作成する活動を通し、自分の特徴に気づくとともに、資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を読むことで、自分の長所を伸ばすことの大切さを感じることのできる教材である。自分自身の気づき、および他者からの気づきを通して知った自分の長所や短所を多面的・多角的に捉え、自分らしい生活や生き方を求めていくためにも短所を改め長所を伸ばしていこうとする態度を育てることが大切である。

(2) 児童観

本学級の児童は、友達のよいところを見つけ、伝え合うことのできる児童が多い。委員会や運動会の係活動で全校の前で発表する時も、大きな声で進んで発表でき、自分らしさを発揮できる児童がたくさんいる。しかし友達のよさには気づけても、自分の短所や長所に気づいていない児童や、気づいていても、言葉にできない児童がいる。また自己肯定感が低く、自分に自信がもてない児童が数名いる。6月に実施したQ-Uの結果を見ても、不満足群、非承認群に属している児童が10名いるのが現状である。

そこで、他者だけでなく、自分自身に目を向けて、多面的・多角的に自分自身の特徴を知り、長所も短所もしっかりと受け止めるようにしたい。将来、どんな自分になっていきたいかを考えながら、自分らしい生き方を目指して改めるところは改め、自己を高めようとする態度を育てたい。

(3) 指導観

本時の指導に当たっては、事前に調査したアンケートを導入に取り入れ、自分や友達のよいところや自分を変えたいと思っていることについて全体共有をする。表を用いて視覚的にアンケート結果を提示することで、友達のよいところは見つけられても、自分のよいところは見つけにくいということに気付かせたい。

展開では、友達のよさを伝え合う活動を行う。グループのよいところをカードに書き、交換し合うことで『自分らしさ』のまど』を作成していく。友達からもらった自分のよいところと自分から見た長所、短所を比べることで、多面的・多角的に自分自身の特徴に気づくことができるようにしたい。

そして資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を読み、手塚治虫の生き方と自分自身を比べて考えることで、自分自身の長所や短所を知ることが、将来に向けて自分の輝かせる意欲につながることに気づかせたい。

4 評価

【主体的に考える】

・友達のを自分の考えと比べながら聞き、自分の言葉で思いを伝えようとしている。(発言・観察)

【多面的に考える】

・完成した『『自分らしさ』のまど』を見て自分の長所や短所を見つめなおそうとしている。(ワークシート・発言)

【自己との関わり】

・自分の長所や短所に気づき、将来に向けて自分の輝かせる意欲につなげようとしている。(ノート・発言)

5 学習指導過程

学習過程	学習活動・主な発問と予想される児童の反応 (○発問 ◎中心発問)	指導上の留意点・評価 (・留意点 ※評価)
【導入】 14 : 25	1 アンケート結果を基に価値について話し合う。 ○アンケート結果を受けて、思ったことや気づいたことはないですか。 ・自分にはよいところがないと答えた児童がいる。 ・「変えたいと思っていることがある」というのは、ほとんどの人が「はい」と答えている。	・現状を知り、価値への方向づけをする。
【展開】 課題把握 14 : 30 14 : 35 自力解決 集団解決 ・班学習 ・全体学習 14 : 52	2 課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 課 友達の気づきからいろいろな自分を知り、自分らしさを見つめよう </div> シラバス：(一人学び・班学び(17分)・学び合い(15分)・振り返り(3分)) 言語わざ：「感じたことや気づいたことを進んで伝える」 3 P91の教材文を読み、グループになって『『自分らしさのまど』を』完成させる。 ○グループになって、それぞれの『『自分らしさのまど』をつくってみましょう。 《1:「友達のよいところ」をカードに書く。》 ・〇〇さんのいいところは、…だな。 《2:友達に書いてもらったカードを「自分らしさ」のまどに貼る。》 ・こんなふうに思ってくれていたなんてはじめて知った。 《3:『『自分らしさ』のまど』を見て、気がついたことや考えたことをまとめる。》 ・友達から見えている自分が知れてよかった。 3 資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を読み、話し合う。 ◎資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を聞いて、手塚治虫さんが伝えたかったことはどんなことだろうか。 ・手塚治虫は、自分が好きだと思いを続けることが大切だと伝えたかったんだと思います。 ・自分らしさを知ることが大切だと言うことです。 ・私は『『自分らしさ』のまど』から〇〇が良いところだと気づきました。手塚治虫さんのようにこれから私も〇〇を続けてがんばりたいです。	・教材文を通して、『『自分らしさ』とは、自分から見える自分と、友達から見える自分があることを伝える。 ・「人との接し方でいいなと思うこと」や「係や委員会などの仕事に取り組む姿がいいなと思うところ」などのいくつか例を示し、考えるヒントとする。 ・活動の手順を視覚的に提示しておく。 ・自分の良いところや直したいところは事前に仕上げておく。 ・完成したカードを見て、どう思ったかが大切であると伝える。 ※完成した『『自分らしさ』のまど』を見て自分の長所や短所を見つめなおしている。(ワークシート・発言) ・一人一人が『『自分らしさ』について考えたことと、資料に書かれている手塚治虫のエピソードを重ね合わせることで自分らしさを知り、それを伸ばす努力が、将来に向けてさらに自分を輝かせることになると気づかせる。 補助発問 ・手塚治虫さんの生き方と『『自分らしさ』のまど』を比べて、これからどんな自分になりたいですか。

	○「自分らしさ」を知ることはなぜ大切なのでしょうか。 ・自分らしさを知るからこそ、努力するためのエネルギーになり、自分の成長につながると思います。	※自分の長所や短所に気づき、将来に向けて自分の輝かせる意欲につながろうとしている。(ノート・発言)
【終末】 ふりかえり 15:07	4 学習したことを振り返る。 5 心のノートP12のメッセージを聞く。 ○メッセージを聞きましょう。	・これからどんな自分になりたいかについてノートに5行以上書く。

6 板書計画

⑤

自分らしさを見つめることはなぜ大切なのか。

将来に向けての成長につながる

努力

長所や短所に気づく

自分らしさのまどと比べてと気づいた。

ここから(C)を糸ひいてがんはりたいたいです。

資料

⑥

『自分らしさ』のまどの作り方

《1:「友達のいいところ」をカードに書く。》
人との接し方でいいと思うこと
 係や委員会などの仕事に取り組む姿でいいと思うこと

《2:友達に書いてもらったカードと自分で書いたカードを「自分らしさ」のまどに貼る。》

《3:『自分らしさ』のまどを見て、気がついたことや考えたことをまとめる。》

⑦

「自分らしさ」を見つめよう

いろいろな自分を知り、「自分らしさ」を見つめよう。

自分らしさ・・・

自分から見える長所・短所

友達から見える自分

手塚治虫さんが伝えたかったこと

好きなと思うことを続けること

自分らしさを知ること